



<VOL87 2015.3>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	saac Palathinkal (インド)
アジア地域会長	岡野 泰和
東日本区理事	田中 博之
北東部長	大久保 知宏
もりおかクラブ会長	山口 貴伸

「言葉より行動を」
「未来を始めよう、今すぐに」
「誇りと喜びを持って」
「一体となって、一歩前に」 楽しく、楽しく、楽しく
「新たな絆を」

今月の聖句 マタイによる福音書18章10～14節



「これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなた方天の父の御心ではない。」

会長	山口 貴伸
副会長	花松 行雄
副会長	菊池 崇江
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文

成27年4月第一例会のご案内
日時 平成27年4月4日第1土曜日)午後6時00分
場所 きのえね本店 会費1,500円
卓話 三田 庸平さん、入会式。
第二例会 平成27年4月17日(第3金曜日)午後6時30分
場所 そば de 10割

山口会長巻頭挨拶



山口会長

皆さんこんにちは。だんだんと春になってきました。朝も早く明け、日中も短い距離ならコートなしで歩けるようになりました。

さて、3月14日もりおかクラブの第一例会において、ひさしぶりに入会式が執り行われました。入会者は三上隆生さんです。息子さんがYMCAのサッカー教室に通っていたご縁での入会です。お仕事はソフトウェア、事務機関連の販売をされています。東日本区からは、会員増強事業主任の仙台青葉城クラブの涌澤 博さんを派遣していただき、厳粛な中にもアットホームに無事入会式を終える事が出来ました。お忙しいところ盛岡までおいでいただきまして誠にありがとうございました。

12月の岩国みなみクラブとのDBCに当たっては田中理事にもおいでいただき、その場にも参加されていた三上さんに「ぜひ1,000人目の新入会員になっていただきたい」とのお声もかけていただいております。皆様のお力で、新しく会員をお迎えす

ることができたことは本当にうれしく思います。今後ともご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。三上さん、楽しく活動をしていきましょう。

もうひとつ嬉しいお知らせです。次回、4月4日の第一例会において、さらに新しいメンバーが誕生いたします。



三田庸平さん

元YMCAのリーダーで「えだまめ」こと三田庸平さんです。年齢は26歳です。もしかしたら東日本区で一番若い入会者かもしれません。人情あふれる昭和型のビジネスマンの多いもりおかクラブですが、その中で先輩方からしっかりと伝統を受け継ぎ、育まれていくことでしょう。

宮古ボランティアセンターの移転問題にしましては、皆様より暖かいお励ましの声をいただきまして誠にありがとうございました。建物は解体、引き渡しを余儀なくされましたが、新しく移転先を決めて引き続き盛岡YMCAが関わっていくことになりました。

3月に三上さんと三田さんのお知らせでした。今後とももりおかクラブをどうぞよろしくお願いいたします。

第一定期会の報告

平成27年3月14日、きのえね本店で開催。出席者、山口、菊池、濱塚、長岡、小川、井上、井上優子、大関、三上隆生(敬称略)、ゲスト、東日本区会員増強事業主任 涌澤 博(仙台青葉城)、三田 庸平さん(元盛岡YMCAリーダー)。2名のゲストを迎えて例会を行いました。三上さんの入会式が取り行われ、正式にもりおかクラブのメンバーになりました。おめでとうございます。

濱塚メンより今後の宮古ボランティアセンターの事をご報告いただき、一同一安心です。スタッフレスのセンターにはなりますが、今後の盛岡からの支援が正念場を迎えます、頑張っていきましょう。さらに大関メンより4月以降の活動予定が伝えられ、身が引き締められました。宮古のクラブ設立へ向けた活動が具体的に始まります。

宮古に芽生えたボランティア精神を、地元の力で大きく育てて行かなければなりません。宮古の方々は、力強く粘り強く、東北人のスピリットをおおいに発揮してもらいましょう。



3月集合写真、三上さんよろしく～

三上隆生さん入会、ありがとう。

大関 靖二メン(次期もりおかクラブ会長)

2013年2月以来、2年ぶりに新会員お迎えいたしました。三上さんのお子さんが盛岡YMCAのサッカークラブに入会している関係でお付き合いがスタートしました。盛岡YMCAの濱塚総主事のお誘いでクラブの例会に何回か出席して頂き、今回

の入会になりました。三上さんは生粋の盛岡人との事で、会員の中には小中学校が同じという方もいらっしゃいます。お仕事はコンピュータ関係の会社で営業の仕事をなさっているとの事で、大変物腰が柔らかく物静かな方です。例会は歓迎会という事で全員でカラオケにいきました。いや～三上さん、うまい！我がクラブにもカラオケ自慢がたくさんいますが(一番はもちろん私)、一目置かざるをえません。これからは種々の行事に参加していただき楽しく、又世の中に奉仕できるクラブ作りを一緒にしていきます。どうぞよろしくお願いたします。



宮古ボランティアセンター移転が決定

濱塚有史メン(盛岡YMCA 総主事)

東日本大震災から4年の歳月が経過しました。ワイズメンズクラブの皆さまにおかれましては震災当初から物心両面に渡って多大なご支援を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

さて、皆さまからの募金で建築された宮古ボランティアセンターですが、今年の5月末をもちまして敷地の土地使用契約が終了します。そのため、ボランティアセンターの移転の準備を昨年末から進めて参りましたが幸い、宮古駅から徒歩20分の場所にある元印刷会社の事務所兼作業所を賃借することができました。

プレハブの建物の処分についても苦慮しておりましたが、YMCAが震災当初からヘドロの除去、瓦礫の撤去等のボランティア活動を行ってきた宮古市鎌ヶ崎漁港にあった銭湯「七滝湯」の復建プロジェクトの一環として利用して頂けることとなりました。銭湯の事務所等に使われる予定です。「七滝湯」の復建は、壊滅的な被害を受けた鎌ヶ崎地区の復興の一つのシンボルとなることと思います。また、当初多額の解体、撤去費用が予想されましたがこちらの方も復建プロジェクトを支援する地元の建築業者の方が無償で引き受けていただくこととなりました。ボランティ

アセンターの引っ越しは5月初旬を予定しております。

転居先住所:

〒027-0066 宮古市田の神 1-2-32

盛岡YMCAは、2021年まで10年間被災地復興支援活動を継続することを目的としております。そして、この活動を通して

- ① 他者の悲しみを自分のことのように悲しめること。
- ② 他者の喜びを自分のことのように喜べること。
- ③ 自分のしてほしいことを他者にもしてあげられるようになること。

以上の3つの価値を宮古の子どもたち、家族、地域に伝えていきます。そのためには、新拠点における事業開発、宮古ワイズメンズクラブの設立等、新たな課題にも取り組んで参ります。どうぞ、これからもご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



君でいいんだよ JUST THE WAY
“VOTI” APP



「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

3月の出席率	9/11	81 %	ゲスト2名	ビジター0名			
メーキャップ	1	名		2月切手	45 g	累計	1,986 g
3月のにこにこ		円	累計 16,350 円	2月プルタブ	250 g	累計	7,716 g
3月 石鯨	0	円	累計 1,941 円	りんご	58,000 円	累計	円
3月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	59,941 円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

2月のハッピーバースディ 3/13 大関メン、3/24 山口メン、3/28 及川メン お誕生日おめでとうございます。

「次期倶楽部会長、部役員研修会」開催

大関靖二(次期もりおかクラブ会長)

3月7日、8日の二日間にわたり、「東山荘」で行なわれた次期会長研修会に出席してきました。2回目の会長研修という事もあり、緊張しましたが、ある程度余裕をもって研修を受ける事ができました。印象に残った事をまとめてみました。日本区時代の元理事の岡本尚男さんの講演があり、この中で「絶対にやらなければならないクラブ運営の原則」

20カ条が大変参考になりました。20カ条については改めて紹介しますので参考にしましょう。次に、東日本区次期理事の渡辺隆さん(甲府クラブ)のお話です。1、YMCAサポーとの強化。YMCAの認知度を高め「クラブの会員はYMCAの会員になると

いう定款を守りましょう。2、会員の増強。東日本区発足時は1246名でしたが、現在(下期)は968名です。1000名を切った会員数では健全な運営は難しい。そのため次年度は各クラブ純増1名を確保してほしいとの事でした。3、部強化、活性化。部を強化し事業推進の主体をクラブ・部とする。部長の役割は従来の理事に匹敵する。会員数の減少、財政の切迫化という現状で区事務所の縮小はやむを得ないと考えている。(例、東日本区事務所長は理事が兼務する。)以上が次期理事の方針です。もりおかクラブも2007年チャーター時は会員が20名おりましたが、現状は11名と減少しております。財政的にも最低17~18名いなければ成り立ちません。今回の三上さんの入会を契機として、活動を活性化し会員増強に努力しましょう。

盛岡YMCAの卒業式、「送別会開催」

盛岡YMCAの送別会を開催いたしました。3月は別れの季節だと分かっている、毎年送別会は別れの現実を突きつけられてしまい、センチになってしまいます。今年の卒業者は、「濱塚直樹さん」(おいなりリーダー)、「澤口葉さん」(おたまリーダー)、「高橋ちひろさん」(ぷーリーダー)、「大向陽明さん」(ごーりきリーダー:スタッフ)、「菊地景子さん」(あんにんリーダー:スタッフ)、「斎藤勉さん」(宮古ボランティアセンターセンター長)の6名です。みなさんの献身的な活動で、盛岡YMCAがどれだけ助かったかははかりしれません。気持ちを込めて、感謝状をおくりました。

3名のボランティアリーダー、「おいなり」、「おたま」、「ぷー」、は将来もYMCAに係わってくる事を期待します。ぜひ、ワイズメ



ンズクラブに入会して一緒に活動して行きましょう。「あんにん」は、現在妊娠中。元気な赤ちゃんを産んで、子供はYMCAで活動させて下さい。「ごーりき」は転身して警察官になります。市民

に愛される警察官になってください。斎藤さん、まる2年の宮古ボランティアセンター勤務ありがとうございました。あなたのおかげで全国から駆けつけたボランティアが宮古で気持ちよく、力いっぱい活動できました。宮古市民も感謝していますよ。宮古から離れても、宮古の

事はこれからもよろしく願いますね。宮古に芽生えたボランティア精神は、盛岡YMCAが引き継ぎます。大きなボランティアの花が咲くのを見守って下さい。毎年、時代がめぐりこの日、一つの区切りがつかしました。また、会いましょう。

エキスポ2015(米国スタッフ研修)に参加

もりおかワイズメンズクラブ担当主事 小川 嘉文

今回、アメリカで行われたYMCAプログラム・エキスポ2015(米国スタッフ研修)に参加すべく、2月16日から23日までの日

程でアメリカに行って参りました。日本のYMCAからは、横浜、岡山、茨城、盛岡のチャイルドケアスタッフが4名参加しました。研修には全米のYMCAスタッフを中心に総勢1600名のYMCAスタッフが集まりました。今回のエキスポのテーマは【トランスフ



ーム】。チェンジではなく何故トランスフォームなのかを考えながら、研修に臨みました。

研修では、全米のYMCAでの各プログラムの成功事例をもとに、取り組みやそれによってYMCAに集う人々(子ども達や地域の人々)

小川 嘉文さん にどのような変化がもたらされたのか、また期待されるのかといった講義や、参加者同士で交流をしながらの学びを中心に行われました。また、エキスポ中に現地のYMCAの施設の見学にも行き、高校生のアフタースクールが非常に印象に残りました。そこは、集ってくる高校生達の居場所としての役割の他、将来自分が手に職をつけるための技術を身につけながら、実際に地域からの仕事を受け、YMCA ディレクターのサポートの元、報酬をもらい経験を積んでいくとの事でした。そこで得

た報酬は、先ほど述べたようなさらに次世代を担う幼稚園、小学生たちの環境作りのためにも充てられているとの事です。

次世代を担う若者をサポートしながら、さらに下の次世代の環境も作り出していくという形は、地域にとっても大切であると見学しながら強く感じました。日本、そして私のいる盛岡での課題やニーズは、私がアメリカで見えてきたものと全く同じということはないでしょう。私がいるこの盛岡の地で地域のために出来ること、これからの地域を担う若者たちのために出来る事を常に模索し、ただ変わっていくだけでなく、良い部分や積み上げてきた部分はしっかりと根差したまま、より前に向かって進化していく事がトランスフォームなのではないかと感じた1週間でした。今回この様な学び、気付きの機会を下さり支えて下さった皆様、本当に有難うございました

都南歴史民俗資料館、ひな人形展開催中



盛岡市湯沢のつどいの森にある、都南歴史民俗資料館で旧暦の3月に合わせて、ひな人形展が開催されています。市民参加型の企画で、盛岡市の鎌田さん秘蔵のコレクションの展示です、今年で5回目になります。ひな人形の展示会は他の施設でも多数ありますが、旧暦の3月に開催するという事で、長い冬からやっと春に訪れを実感できるこの季節こそ本当のひな祭りと言う事でした。そういうコンセプトなのでしょう。

政調のひな人形はもちろん、かわり雛の数々。社に鎮座している人形、貝がらを使用した人形、みるからにかわいい人形など、どれも個性豊かです。



大きな絵皿に描かれているお内裏さまとお雛様は、一般の飾り方の左右が逆です。右がお内裏さまという並びは、関西と関東の違いと理解しておりましたが、館長の玉川さんのお話によると、大正天皇が皇后さまを大事にするという事で皇后さまを位の高い自分の左側、たいじする側からは右にいつも置くようにしたそうです。この事からその後、お内裏様が左、お雛様が右に置くようになったとの事です。

本来の展示品も興味をそそぐものです。土偶や縄文式土器、矢じり、さらに消防ポンプ実物で手押しポンプが展示されています。過去に消防団員だった長岡は、これは水を噴射するにはものすごい労力だったろうと推測しました。現代はもちろんエンジンを使った動力ポンプ消防車です。このひな人形展は4月中旬まで開催します、ぜひお出かけください。



編集後記

震災から丸4年経ちました。各地の被災地からは続々と復興への歩みの話題が届いております。4年の経過は私たちの宮古ボランティアセンターにも少なからず影響をもたらしました。移転が決まり、スタッフレスの施設になってしまいます。しかし、いつまでも皆様のお力にすがって運営を続けていくわけにも行かず、いい機会だと思って、これからの未来に向かっていきましょう。歴代のボランティアセンター長の方々に心から感謝申し上げます。



初代池田さんはいませんが、3名の歴代所長さんです。

夏にはまたお会い出来る事、お待ちしております。



朝焼けの岩手山



東山荘からの富士山